

基腐病に打ち克つために

「持ち込まない」対策の徹底 —基腐病対策は健全苗の確保から—

1 種いも伏せ込み育苗(種いもを用いた育苗)

—その種いもは健全ですか—

- ① 種いもは、病気の発生していない「種いも専用ほ場」から収穫。
- ② 収穫した種いものなり首を、切り口の直径が100円玉くらいになるよう切除。併せて、尾部も切除。



(1) 温度

- ・ 種いもの伏せ込み直後から萌芽までの床温は28～33℃
- ・ 萌芽後の気温は昼間25～30℃、夜間15℃

※ 苗床の低温は、種いも腐敗の原因となるので注意

(2) ポリマルチの除去

- ・ 種いもが萌芽し始めたら、日焼けを起こしやすいので、ポリマルチに穴をあけて芽を出し、萌芽揃い後は直ちに除去

(3) かん水

- ・ 床面が乾かない程度に、温暖な日の午前中にかん水

(4) 異常株の抜き取り



種いもを覆土し、十分にかん水



ポリマルチをして地温確保、保水



1～2月の伏せ込みはハウス＋トンネル

※栽培ほ場にどのような対策を講じても、**感染苗を持ち込んでしまえば、防除効果は現れません。**
健全な苗生産は、防除対策の基本！

2 バイオ苗育苗(茎頂培養苗育苗)

(1) 温度

- ・ 気温は、昼間30℃、夜間20℃を目安に管理

(2) 定植とかん水

- ・ 挿し苗増殖用の苗は、下2節を育苗床に挿し定植
- ・ 床土が乾かないように、温暖な日の午前中にかん水

奨励品種の基腐病抵抗性程度

	弱	やや弱	中	やや強
青果用	べにはるか	高系14号 (ベニサツマ)	—	べにまさり
焼酎原料用	—	コガネセンガン	—	—
でん粉用	こなみずき ダイチノユメ	—	シロユタカ	こないしん

※ 基腐病に抵抗性のある「みちしづく」については、令和4年3月30日出願公表。現在、種いもを増殖中である。

※**基腐病に弱い品種から強い品種に変更すると、発生の軽減が期待できる。**

・収穫時に腐敗いもの割合が1割以上あった畑は、**連作を避け、別の品目を植付けましょ**う。

サツマイモ基腐病対策のポイント⑥

<排水対策, 苗消毒, 発病株の抜き取り>



農産園芸課サツマイモ基腐病対策班

★サツマイモ基腐病対策は、ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」対策を総合的に取り組む必要があります。

5年産に向けた対策に、油断することなく取り組みましょう。

【育苗】 定期的な巡回で、発病株の早期発見・抜き取りを徹底しましょう！

- 葉の変色や株の基部の茎が黒変している株は、株ごと抜き取りましょう。
なお、種いもを用いた育苗の場合には、種いもごと掘りあげ、抜き取った株は、ほ場外へ持ち出しましょう。
- 抜き取り後、速やかに銅剤を散布しましょう。



葉の変色

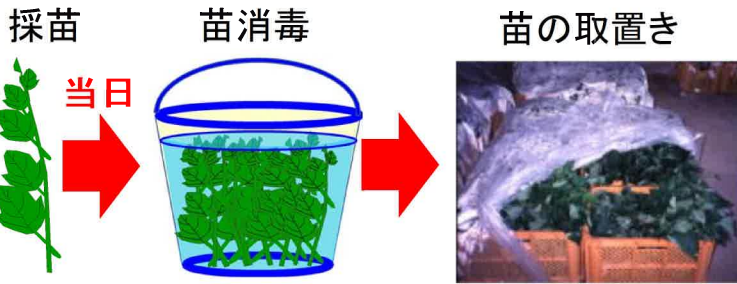


茎の黒変



種いもの腐敗
苗基部の黒変

【植付】 植付前には、必ず苗を消毒しましょう！



※ 苗全体を薬液に30分漬ける

- 採苗は地際から5cm以上高い位置で行いましょう。
- 採苗で使用するハサミは、こまめに消毒（火炎滅菌または丁寧な水洗と拭き取り）しましょう。
- 苗全体が薬液に浸かるようにしましょう。
- 消毒液は使用日ごとに毎回調製しましょう。

【ほ場】 排水対策を行い、ほ場が湛水しないような環境を作りましょう！

基腐病菌は水を介して移動するため、水が溜まりやすいほ場で感染株が増加します。排水口があっても、ほ場外への接続が悪い場合は、表面排水が不十分になるため、以下の3つの作業を行いましょう。



① 額縁明きよの施工



② 枕畝を設置しない



③ 明きよを排水路に接続

農薬の名称	対象病虫害	希釈倍率	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病, つる割病, 黒斑病	500~1,000倍	植付前
ベンレートT 水和剤20	基腐病, 黒斑病	基腐病200倍, 黒斑病20倍	植付前

ご不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム（事務局：地域振興局・支庁農政普及課）にご連絡ください。
※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究進事業(01020C)」の成果を活用しました。